



でもわかる!

# 森林GIS入門

ArcView版応用編

その3

ポリゴンの作製①



ポリゴンは、ラインとは違って二次元の面で構成されています。  
森林GISでは、林班や小班・土場などがこれに該当します。



林班や小班は重ならないようにピッタリとくっついています

みなさん、こんにちは。  
「こみぼ」です。  
今回はポリゴンの作製にチャレンジしてみましよう。



ここで「シェイプファイル」という新しい言葉が出てきました。このファイルは、拡張子が[shp][dbf][shx][sbn][sbx]の5つのファイルの集まりを総称して「シェイプファイル」と言います。  
ポリゴンもラインもポイントも全てシェイプファイルです。

(※ファイルが[shp][dbf][shx]の3つのみの場合もあります。)



シェイプファイルはshapファイルとも書かれますよ。

最初はラインと同じで、「新規テーマ」↓「ポリゴン」で新しくシェイプファイルを作ります。



終了するときは左ダブルクリックです。

左クリックで頂点を作っていきます。



ボタンを長押しするとさらに図形の種類が選べるようになります。  
それでは、多角形を例にポリゴンを書いてみよう。

- ← 四角い図形の作成
- ← 丸い図形の作成
- ← 多角形の作成
- ← 図形の分割
- ← 隣接図形の接合







<p>テーマ(T) グラフィックス(G) ウィン</p> <p>プロパティ(P)...</p> <p>編集の終了(E)</p> <p>編集内容を保存(S)</p> <p>名前を付けて保存(O)...</p> <p>シェープファイルに変換(S)...</p> <p>凡例を編集(L)...</p> <p>凡例の表示/非表示(H)</p>	<p>ArcView GIS Version 3.1</p> <p>ファイル(F) 編集(E) ビュー(V)</p> <p>閉じる(C)</p> <p>すべてを閉じる(A)</p> <p>作業フォルダの設定(W)...</p> <p>上書き保存(S) Ctrl+S</p> <p>名前を付けて保存...</p> <p>拡張機能...</p>
---	--

shapファイルの保存

プロジェクトファイルの保存

こんなことにならないように保存はコマメに行いましょう。

今回はポリゴンの移動です。

shapファイルの保存は「テーマ」→「編集内容の保存」で行います。  
また、色々なテーマ（ポイントやポリゴンのshapファイル）を開いている状態の手順を保存しておく、次に同じ状態から始めることができます。このファイルを「プロジェクトファイル」と言いますので、覚えておいて下さい（拡張子はapr）。